



新型コロナウイルスの感染状況により、掲載のイベントが延期または中止となる可能性があります。お出かけ前に、必ずお問合せください

お気軽にご相談ください！～民生委員・児童委員～

▶「民生委員・児童委員」とは？

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、暮らしに関するさまざまな相談に対し、解決に向けた助言や関係機関との橋渡しを行うボランティアです。児童委員を兼ねており、子どもや子育て家庭の支援など児童福祉の向上にも努めています。

第5地区(幸町、柏町、砂川町・泉町)では、現在25名の民生委員・児童委員、2名の協力員、2名の主任児童委員(児童福祉に関する問題を専門に担当)が活動しています。



ミンジーくん

民生委員・児童委員には守秘義務が課せられています。心配事やお困り事など、安心してご相談ください。お近くの委員の連絡先など、詳しくはお問い合わせください。

問合せ：立川市福祉総務課地域福祉推進係 電話(523)2111／内線1493



コロナ禍だけど…楽しく過ごそう！！ 「子ども会」ってなに？～「柏町子ども会連絡協議会(柏子連)」編～

立川市ではおよそ100の子ども会が活動しています。自主的に組織され、異年齢の子ども達が遊びを通して持っている能力と発達を促すことを目的に地域で活動しています。

今号では新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮したチャレンジ企画としてZOOM(ミーティング等をオンラインで開催するためのアプリ)を活用したイベントを開催している「柏町子ども会連絡協議会」の活動を紹介します。



問合せ：

柏町子ども会連絡協議会 満間(みつま)さん

メール：kashiwa-koren@gmail.com

子ども会参加者＆
ジュニアリーダーを
募集しています！！

オンラインで開催！

「ウエルカム子ども会&ハロウィンパーティー」

「ウエルカム子ども会」はオンライン上での自己紹介後、事前に用意した工作キットを使用して各家庭で思い思いのデザインで工作をしました。完成後はそれぞれの作品を画面上でお披露目！最後はオンライン記念撮影が行われました。続いて第2弾の「ハロウィン」もオンラインで楽しく開催されました。コミュニケーションが減り、ハロウィンマスクがちな時期にお互いの顔を見ながらの交流はとて有意義な時間となりました。



アマビエキャンドル

その他、ジュニアリーダーを中心とした日帰りキャンプ、資源回収など、感染予防に配慮しながら子ども達の笑顔のために様々な地域活動が行われています。

▶「支えあいサロン」 ポンポントリム

～誰でも、楽しく、無理なく始められる運動です～

元気で健やかに生きていくための体力づくりをしませんか？一緒に身体を動かしましょう。見学、体験受付中です。

日 時：毎週金曜日 ①午後1時半～2時半
②午後3時～4時

場 所：こぶし会館(幸町5-83-1)
会 費：入会金500円、1,200円/月
連絡先：地域福祉コーディネーター(4面)



▶冒険遊び場～思いっきり楽しもう！～

「冒険遊び場」とは子どもたちが「遊び」をつくる場です。決められた遊びでなく、地面を掘ったり、木に登ったり、何か物を作ったり、虫を探したり……。 「自分のやってみたいと思うこと」を実現して楽しく遊びましょう！ 詳細はお問合せください。開催状況等お知らせします。

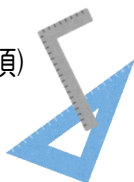


問合せ：冒険遊び場の会たちかわ
tachikawabouken@gmail.com

▶ピタゴラ大会 ～幸児童館～

身の回りにあるものやからくり装置を使って遊びましょう！

日 時：2月24日(水) 15時～16時半
場 所：幸児童館(幸町2-19-1)
対 象：小学生/定 員：15名(申込み順)
申込み：2月20日(土)まで
問合せ：幸児童館 電話(537)0358
*申込みには児童館登録が必要です



▶あんよの会 オンライン懇談会 ～歩き方が気になる子の親の会～

歩き方や足の成長が気になるお子さんを育てている家族の懇談会を定期的に開いています。今回はZOOMによる初のオンライン懇談会！招待メールを送りますので、申込みのアドレスにご連絡ください。



日 時：2月12日(金) 午前10時～11時
申込み・問合せ：中橋さん anyonokai@gmail.com
または地域福祉コーディネーターへ(4面)



ブログでミニ学習会の内容や懇談会の様子もお伝えします。
<https://ameblo.jp/anyonokai/entry-12459292548.html>

▶ママ・パパのための育休復帰教室 ～復帰前の仕事・保育の両立準備を楽しく考えよう～

これから育休復帰するママ・パパが、「育休復帰準備」のワークショップを通して、また、先輩ママ・パパの「夫婦役割シェア」や「1日のタイムスケジュール」など、さまざまなタイプの家庭の仕事や育児/家事の体験談を元に、「育休復帰準備」を楽しくしよう♪

日 時：2月27日(土)
午前10時～11時半

場 所：総合福祉センター
内 容：「職場復帰前に仕事・
保育の両立を夫婦で考える」

対象者：育休復帰のママパパ
定 員：15組(先着順)
講 師：Hiタッチ!! 代表・野崎 聡司氏
Hiタッチ!! 副代表・横山 太一氏

参加費：1家庭500円

申込み：第3地区地域福祉コーディネーター
電話(540)0210

又はQRコードより申込み可能



▶コロナ禍の学生の困窮と生活支援 ～都立大での食糧配布活動の紹介～

2020年5月の連休明けに「都立大コロナ対策学生生活支援プロジェクト」を立上げて困窮する都立大生への食糧配布活動を行っています。教職員やOB・OGだけではなく、地域の社会福祉協議会やフードバンクの皆さんと連携した取り組みについてお話しします。

日 時：2月24日(水) 18時～19時半
内 容：オンライン講座/参加費：無料
対象者：フードバンク活動に関心のある方
講 師：野元 弘幸氏

(東京都立大学・人文社会学部教授)

申込み：Googleフォーム受付

問合せ：地域福祉コーディネーター(4面)



▶「ゆんたく・立川」出張懇談会 ～ひきこもり地域家族会～

同じ生きづらさを抱えた方のご家族同士、自由に想いを分かち合い、ゆんたく(おしゃべり)しませんか。懇談にあたっては、守秘義務を徹底していますので安心してご参加ください。
途中参加、途中退出可能。直接会場へどうぞ。

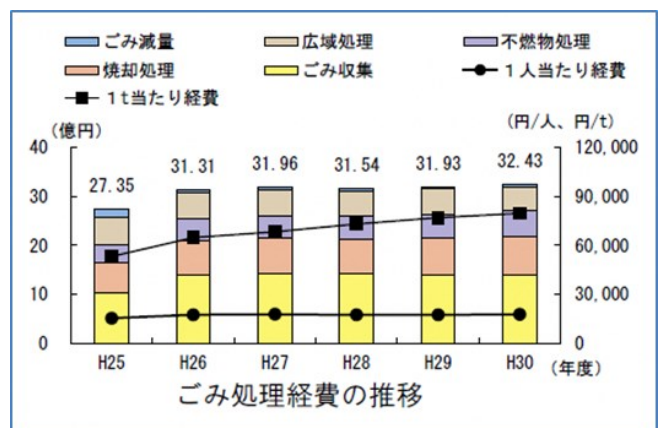
日 時：3月5日(金) 13時半～15時半
場 所：若葉会館(若葉町3-34-1)
協 力：ゆんたく・立川
問合せ：地域福祉コーディネーター(4面)

こんにちは「さいわい包括」です

「立川市ごみ出し支援事業」をご存じですか？

立川市における家庭ごみの戸別収集・有料化は、平成25年11月から始まり今年で7年が経過しました。ごみ分別カレンダーを見て、ごみの種類や回収される日を確認しつつ”出す曜日や日にち、間違っていないかな～？”…不安な気持ちで集積場所に置く。時間を置いて、集積場所に自分の出したごみがないことを確認し、安堵する。地域包括で働く私も、そんな市民の一人です。しかしなぜ、わざわざごみを分別する必要があるのでしょうか。

ごみを分別する理由として、もう一度資源として使えるものがあること（リサイクル）、リサイクルすることで健康、自然環境、暮らしに良い影響があること。ごみの処理費用が減ること。天然資源（石油）の使用量が減ること。地球温暖化の原因となる二酸化炭素が減ることが挙げられます。



ごみを分別する必要性は分かるものの、高齢者の方々や障がいのあるの方々の中には、出すことが困難な方がいらっしゃいます。そのような方の場合、何とか自分で捨てている方【自助】、近隣や知人に依頼する【互助】、また有料サービスを利用【共助】して、状況にあわせて捨てているのが現状です。



そんな方に対して、立川市には「ごみ出し支援事業」というサービス【公助】があります。対象者は①介護保険で要介護3～5以上の方、②身体障害者手帳1、2級の方、③精神障害者手帳1級の方、④上記①～③に準ずると市長が認める方で、①～④に該当する方のみで構成される世帯で、集合住宅に居住し、自力でのごみ出しが困難、かつ近隣からの協力が得られない方となります。支援内容は、支援員が自宅を訪問し、自室前に置かれているごみ袋を所定の集積場に出す、また訪問した際に、希望する方には声かけをすることで安否確認をしてくれる、という内容です。



申請書配布場所・提出先：

総合リサイクルセンター／ごみ対策課 (西砂町4-77-1)

市役所／環境対策課・障害福祉課・介護保険課・高齢福祉課 (泉町1156-9)

立川市総合福祉センター (富士見町2-36-47)

詳しく知りたい方は、環境下水道部 ごみ対策課 電話(523)2111 内線6751
まで、お問い合わせください。

ちょこっとボランティアに登録しませんか？

▶ちょこっとボランティアとは

高齢者を地域の人々で見守り、孤立を防ぎ、安心して暮らし続けることができるよう、立川市から地域包括支援センターに委託された事業です。



地域包括支援センターに
ボランティア登録

支援を必要とする方と
コーディネート

ちょこボラ支援の開始
交流会や全体会もあり

▶主な活動内容は

- 定期的な電話や訪問による **見守り**
- ゴミ出し、手紙の代読、郵便物の取り込みなど **軽微な生活援助**
- ◆ 包括が行う介護予防教室やサロンなど地域支え合い活動のお手伝い **地域サポーター**

申込み・問合せ：さいわい地域包括支援センター(下記)へ

認知症サポーター養成講座

認知症について学び、認知症の方や家族を見守る応援者になりませんか。

※新型コロナウイルス感染症流行状況により、中止となる可能性があります。

日 時：2月20日(土) 午前9時～10時半

場 所：至誠キートスホーム(幸町4-14-1)

定 員：10名程度(申込順)

申込み・問合せ：

さいわい地域包括支援センター(下記)へ



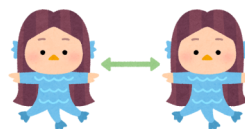
今、わたしができること...



換気する



マスクする



間を開ける



手洗い・消毒

地域包括支援センター／地域の高齢者の総合相談窓口。高齢者福祉の拠点として設置された機関で、市内には6箇所あります。砂川町・柏町・幸町・泉町の担当が「立川市北部中さいわい地域包括支援センター」です。



発行・連絡先

◎立川市社会福祉協議会

地域福祉コーディネーター(田口)

電 話 042-534-9616

FAX 042-534-9617

E-mail dai5chiku@sweet.ocn.ne.jp

※地域包括支援センター内に席を置いて活動しています。



イラスト
あさみゆきの

◎立川市北部中さいわい

地域包括支援センター

立川市幸町4-14-1

(至誠キートスホーム内)

電 話 042-538-2339

FAX 042-538-1302